

持続的発展をめざした環境への取り組み

——長沙市環境保護と生態建設

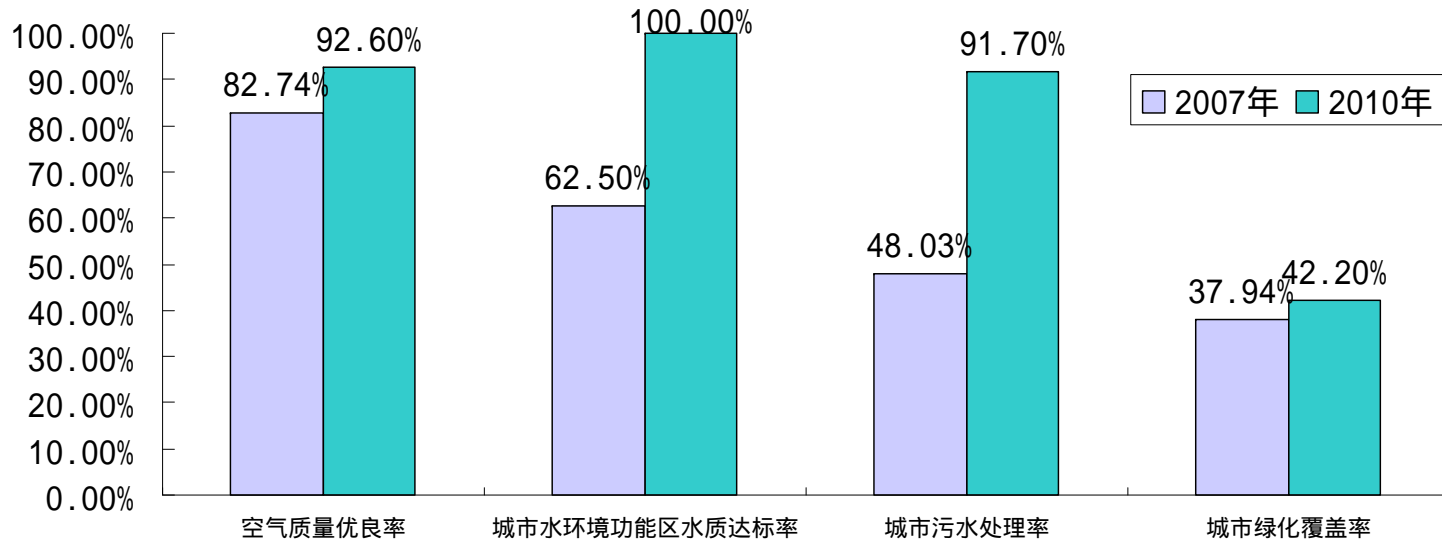
長沙市環境保護局

2011年7月

要 綱

- 一、**“十一回五ヵ年計画”での環境保護と生態建設事業の振り返り**
- 二、**問題点及び新しい挑戦**
- 三、**基本原則**
- 四、**主要任務**

(二) 主な成績及び経験



- 1、リーダーシップを発揮し、資金投入を年毎に増加させた；
- 2、汚染処理施設を建設し、汚染排出削減の任務を円満に完成させた；
- 3、整備のメインを立て、重大汚染源の整備を推進させた；
- 4、農村環境整備に力を入れ、都市と農村の環境を統括に整備した；
- 5、生態建設を進め、環境の質が著しく高められた；
- 6、宣伝に力を入れ、市民の環境保護に対する認識を高めた。

(三) 問題点及び新しい挑戦

1、問題点

- (1) 与えられた時間が短く、部分的建設プロジェクトが予定どおり完成できない；
- (2) 郷と鎮(市の下での行政単位)の財力不足が環境インフラ施設の建設に影響を与える；
- (3) 家畜養殖時の汚染整備計画の実施が延長；
- (4) 計画の実行意識、環境監督と管理能力の今後のアップが期待される。

2、新しい挑戦

- (1) 国家は排出削減の面でアンモニア窒素と窒素酸化物の二つの指数を設け、削減任務が重くなっている；
- (2) 「湘江長沙総合中枢プロジェクト」の実施は湘江の水質安全に新たな挑戦をかけた；
- (3) 都市化への道は更に進められることになり、経済は高い基数の上に速い成長を維持される。また住民の住居環境に対する新しい期待もあり、今後の環境保護の情勢はもっと厳しくなる。

(二) 基本原則

『三効』原則の堅持

——環境、経済と社会効果、利益の相互統一

『三重』原則の実行

——汚染整備では汚染主源のコントロールを重視し、生態建設ではエリア全体の整備を重視し、基礎インフラ施設では資金の投入を重視するという方針

『三評』原則の重視

——定量評価、社会評議と総合評定の検定システム

(一) 環境質の目標

指 標	目標要求
主要河流水環境機能エリア基準到達率	100%
都市飲用水源水質基準到達率	98%
農村飲用水衛生合格率	100%
環境空気質優良率	90%
都心部音量環境質	機能エリアの基準に達する

(二) 環境整備目標

指 標	目標要求	指 標	目標要求
都市集中式污水处理率	92%	集鎮*生活污水处理率	60%
分散式農家污水处理施設整備率	20%	工業用水繰り返し利用率	95%
工業固体廃棄物総合利用率	90%	医療廃棄物と危険廃棄物の集中処理率	100%
都市と農村生活ごみの無害化処理率	100%	農村生活ごみの減量率	70%
農村生活ごみの無害化処理率	50%	農村生活ごみの分類回収率	30%
家畜養殖時の廃棄物総合利用率	70%	森林被覆率	50%
被保護地域が市国土面積で占める比率	13%	一人当たりの公共緑地面積	12平米

都心部は基本的に国家環境保護モデル都市の基準に達した。現在は1～2の生態県(市)、50の生態郷と鎮(市の下の行政単位)、100の生態村がある。

*集鎮:都市と農村の間の過渡的住民エリアで、行政的意味は持っていない。

四、主な任務

(一) 都市環境の質を高め、住み心地良い都市づくりを促進

1、汚染整備に力を入れ、住みやすさの水準を高める

(1) 大気汚染整備に力を入れる

「燃焼禁止エリア」の範囲を広める；

砂埃のコントロール範囲を拡大し、实现“全面的に自動車の洗浄を行い、全面的に土の運搬を禁止し、全範囲で建設工事現場を囲い、全過程で砂埃をコントロールする；

飲食業の総合整備、車両の排気整備を強化し、2013年には全部の黄色マーク(汚染排出の高い車両)の公共バスとタクシーを廃れる；

重要企業の汚染整備プロジェクトを推進し、華能電力工場の烟気二级脱硝プロジェクトを完成させる；

セメント工場の脱硝技術のテストプロジェクトをスタートさせる。

(2) 汚水整備に力を入れる

湘江の長沙区域の中心市街地、市街地内の瀏陽河、圭塘河、撈刀河、靳江河、龍王港などの区間の河の汚染処理プロジェクトを完成させた；

国の「湘江長沙総合中枢プロジェクト」についての要求に基づき、岳麓汚水処理場の排水パイプの通る道を変える；

都市の汚水処理場の基準と質を高める。また湘江沿岸20キロ以内にある汚水処理場には水質基準を高める工芸改造を実施し、新しくできた汚水処理場には「都市汚水処理場の汚染物排出基準」の一級Aレベルの排出基準に達するようにする；

中水の再利用を積極的に進め、その再利用率は10%になる。

(3) 騒音の予防と防止

都市の音声環境機能エリアを新しく規定し、第三環状線内で基本的に車両の汽笛を禁止する；

市街地の範囲内で高速道路、環状線、省道(県道)、高架橋と立体交差橋近くの住宅地のある敏感度の高いエリアに防音施設を設置する。また、都市道路の改修、拡張の中で必ず防音施設を設置を完成する。

2、総合予防と防止を強め、グリーン発展を遂げる

(1) 非都市型産業の撤退を推進する

産業システムを調整し、五つの区の中の「二高、三小、二業」などの非都市型産業を逐次に淘汰させ、市街地の立ち遅れた企業を脱退させる；

市街地に家畜の養殖産業の脱退させる；

(2) サービス業の環境管理を整える

「長沙市サービス業環境管理規則」を定め、サービス業を機能別にエリアを分けて実施する；

飲食、宿泊、娯楽、バスセンター、医療衛生、車両の補修と手入れなどのサービス業での廃棄物排出施設が基準に達するようにしている。

(3) 都市と農村部の融合地域の環境整備を強める

『都市中の村』の改善モデル地域に協力し、五つの区の都市・農村の融合地域の汚水処理施設の整備、ごみ収集処理施設と緑化景観づくりに力をいれる；

(4) 資源の総合利用率を高める

生活ごみの収集、運搬と処理施設の整備を完備させ、ごみの収集、運搬、焼却、安全な埋め立てと综合利用システムをつくる。2012年までにごみの移転ステーションの拡張工事を完成させる；

長沙市医療廃棄物処理センターをメインとする医療廃棄物収集処理システムの確立に力を入れる；

レストランのごみ処理センターを設け、四大廃棄・旧い資源処理センターの建設をスタートする；

汚水処理場場内の泥を固体化させるモデルプロジェクトを開始する；

汚染排出権の交易と環境リスクのある企業の保険加入を速める。

3、生態建設を強め、生態創立を強調する

(1) 全力を挙げて都市の生態建設を進める

都市の「生態通路」を作り上げ、メインに浏陽河、圭塘河、龍王港などの河川の生態清潔型エリアの建設、主な河の生態修復プロジェクトを実施する；

都市の湿地を保全することに力を入れ、重点的に湿地公園を設け、地域湿地の建設を始める；

大型都市緑島の保全を強め、周辺環境の総合整備、生態修復及び中心風景エリアの部署・団体、商店網の廃水、廃棄物汚染整備を完成させる；

都市の緑地をバランスよく配置し、80～100の新しい地域社会を作る。

(2) 生態建設をテンポを速める

「省エネ地域社会」(「両型の地域社会」)づくりに取り組み、三年以内に100の「省エネ・環境保護の地域社会」(「両型の地域社会」)を作ることを目標にする；

五つの区は町を単位として騒音環境整備のモデル地域を作る。

環境保護能力の建設目標

- 環境監視と管理能力と環境保護需要が基本的に適応し、中部地域の省庁(県庁)所在地の都市の中でも上の水準に達するようにする。
- 市の環境監察・監視測定能力が国の二級レベルに達するようにし、水汚染と大気汚染の重点監視・管理を受ける企業は『湖南省汚染源の自動コントロール管理規則』に基づいて、オンラインコントロール、車両排気汚染のネットワークでの自動コントロールができるようにする。
- 区、県(市)レベルの環境監察能力を国の三級レベルにアップさせ、岳麓区と県(市)の監視測定能力が国の三級レベルに達するようにする。

3、定期的に全市での環境保護知識育成教育プログラムを実施

全市の環境保護分野の職員を対象に定期的に教育プログラムを実施し、監察・監視測定関係職員は資格を取って就職するようにする；

期間を分けて全市、郷(鎮)の首長、街道事務所主任(町内会会長)と環境分野の担当者を相手に教育を行う；

定期的に企業の管理層に対して教育を行う。

4、生態環境保護のアピールを行う

環境保護の宣伝基地をつくり、小・中学生と市民、村民むけの環境教育教材を編集、印刷し、都市と農村環境教育の一体化を推進し、社会に対する宣伝を拡大し、メディアの環境保護、生態宣伝と世論監督へ取り組むように励み、市(村)民が『環境保護三年行動計画』に積極的に参加するよう励ます。

ありがとうございました！